

糸我小学校だより

令和6年11月 ①



年末を迎え、新年の足音が聞こえてくる頃になりました。そんな時期に、大変遅くなりましたが、10月後半から11月の学校での出来事を紹介します。



地震津波避難訓練

11月5日は「世界津波の日」です。本校でもこの日に合わせ、地震津波避難訓練を行いました。緊急地震速報を流すと、子供たちは、すぐに机の下に潜り込み身を守る体勢をとりました。「地震がおさまりました。」という放送を聞くと担任の指示に従い、全員がグラウンドへ避難。その後、津波が来るという想定で、法明寺まで避難しました。子供達はみんな真剣な態度で訓練に臨むことができました。

災害はいつ起こるか分かりません。避難三原則である「想定に捉われるな」「その状況で最善を尽くせ」「率先避難者になれ」をしっかり身につけたいと思います。



さつまいもクッキング(1・2年生)

11月7日(木)に、さつまいもクッキングをしました。JAの方に来ていただいて、スイートポテトもちの作り方を教えてもらいました。さつまいもの皮をむいたり、切ったり、つぶしたりと子供たちはひとつひとつの作業を一生懸命にしていました。最後は思い思いの形になったスイートポテトもちを「おいしい!」と笑顔で食べました。みんなで一緒につくって食べたスイートポテトもちの味は格別ですね。今度はお家の人と一緒に挑戦ですね。



学校開放週間

11月11日(月)～15日(金)は学校開放週間でした。お忙しい中にもかかわらず、学校や子供たちの様子を参観してくださり、ありがとうございます。期間が短かったにもかかわらず、のべ57名もの保護者の方や地域の方が学校に来てくださいました。アンケートにご協力くださった方もいて、あたたかい励ましや感謝の言葉をいただき、保護者の方々に支えられていることを改めて感じました。今後も皆様のお力を借りながら、よりよい学校づくりを目指し、職員一同頑張っていきたいと思っております。

「みかんの学習」系我小・田鶴小・初島小と3校で収穫体験学習

11月7日（木）にみかんの収穫を体験をさせていただきました。
長年続いている「みかんの学習」。毎年、指導して下さるのは有田市農業委員会会長である宮本正弘さんです。体験学習を通して、みかん農家の方の工夫や苦勞、願いを学んできました。今年の収穫は、系我小、田鶴小、初島小の3校の3年生たちが一緒に体験しました。収穫だけではなく、みかんの歴史の学習や、糖度を測る体験をしました。みかんの上の方が甘いのか下の方が甘いのか等、実験的に糖度を測りました。
いつも思うことですが、将来、有田の特産品であるみかんに携わる仕事に就いてくれる子が現れることを願っています。お忙しい中、本当にありがとうございました。
因みに、4年生の児童は、昨年、体育館横に植樹したみかんの収穫をしました。



黒米給食

11月13日（水）の給食に黒米を混ぜたご飯が市内の学校に出ました。系我の田んぼの学校で、5年生の子供たちが地域の人たちと一緒につくった黒米です。子供たちは大よろこびで、おいしくいただきました。山崎佳彦さんを学校にお招きして食べていただきました。自分たちが作ったものを、みんなに食べてもらえるという貴重な経験をさせていただきました。きっと、子供たちの記憶に残っていくと思います。この貴重な経験を支えてくださった地域の方や給食センターの方々に感謝いたします。ありがとうございました。



お礼の訪問 ～田んぼの学校～

11月18日（月）に、5年生の代表者が有田市役所と有田振興局に、収穫したお米を持って訪問しました。今年度の「田んぼの学校」の活動終了の報告と活動の支援へのお礼を伝えました。今年度の田んぼの学校はこれで終了です。色々お世話になりありがとうございました。



糸我小学校だより

令和6年11月 ②

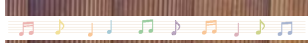


校内音楽発表会 & 有田市内音楽会・有田地方音楽会

11月12日（火）、校内音楽発表会を実施し、4年生から6年生の合同の演奏を保護者の方に聴いてもらいました。朝の短い時間でしたが、集まってくださったたくさんの保護者の方に、迫力のある演奏を聴いていただけたと思います。

11月13日（水）には、有田市内音楽会・有田地方音楽会に出場し紀文ホールの大舞台で合唱・演奏しました。練習の成果を十分に発揮し素晴らしい演奏ができました。

校内音楽発表会 →
有田市内音楽会・有田地方音楽会



演劇鑑賞会～人形劇団むずび座～

11月15日（金）に人形劇団「むずび座」に来ていただき人形劇を鑑賞しました。上演された作品名は『かくれ山の大冒険』というお話でした。

当日、上演前の体育館は、すでに別世界のような雰囲気になっていました。子供たちもこれから始まるお話に胸が高まっていたことでしょう。観劇中も、おもしろい場面では笑い、主人公がピンチになると固唾をのみながら見入り、人形劇を楽しんでいました。人形を操る人は、大きな人形と一緒に動くのですが、時間が経つにつれ、後ろの操っている人が全く気にならないようになっていました。

エンディングには5・6年生の児童も登場し、劇を盛り上げてくれました。演劇は、子どもの表現力やコミュニケーション能力を高める絶好の教育法だとよく言われます。もちろん演じる方が効果的ではありますが、優れた芸術表現を観て心が動く体験がなくては、豊かな表現力も育まれないと思います。そういった意味でも今回の演劇鑑賞会は、子供たちにとって良い経験になりました。



AQ選果場・スーパー廣岡の見学（3年生）

11月21日（木）、3年生が総合的な学習の時間に取り組んでいる「みかんの学習」でJAありだAQ中央選果場の見学に行き、みかんを選果する様子を見学しました。子供たちは、運ばれてくるたくさんのみかんが、いろんな機械や人を通して選別されていく様子を初めて見て、とても驚いていました。また、ほとんどの作業がAIで制御されていることにも驚きです。

同日、デリシャス広岡吉備店も見学させていただきました。普段見ることのないバックヤードを見学させていただき、たくさんの工夫を見つけてきたようです。



情報モラルの学習

11月26日（火）4～6年生が、情報モラルについて学習しました。講師として特定非営利活動法人ハートツリー所属のネットワークスペシャリスト佐々木 哲（ささき さとし）氏をお招きしました。SNSを使うときのマナーやSNSの危険性などについて、実際にあったトラブルや事件などを例に挙げお話ししてくれました。

「相手の人のことをよく考えて、マナーを守って行動すること」「本当の顔が見えない相手を安易に信用してはいけないこと」「依存症になるのを防ぐために使用時間などのルールをおうちに人と話し合うこと」など、いろいろお話ししてくれました。

スマホやタブレットが普及し身近なものになりました。使い方次第で危険なものになることを十分理解し、自分自身が責任をもって使える力をつけなければなりません。しかし、スマホ所持は低年齢化してきていて、実際、なかなか難しいことです。責任を持てるようになるまで、使い方やルール・マナーについて、お家でもお声かけをよろしくお願いします。

